

「レア日本犬だヨ!? 全員集合」

柴犬以外の中・大型日本犬&狺、日本スピッツ、日本テリアなど日本原産の犬を「レア日本犬」と位置づけ、会場で「レア日本犬部」を結成。ステージ上で、犬との暮らしに関する飼い主さんへのインタビューや愛犬自慢、写真撮影などを行っている。



北海道、秋田、甲斐、紀州、四国……。体が大きく力も強い中・大型の日本犬は、一緒に暮らす人や環境を選ぶ犬種だ。「令和日本犬博」に参加する日本犬も、圧倒的に柴が多い。その中で「レア日本犬だヨ!? 全員集合」というコンテンツを設定

したことで、飼い主さん&犬たちがリアルで交流できる貴重な場となっている。タイムレースなどのコンテンツでも、柴犬部門・秋田犬部門・WSA (Without Shiba and Akita) 部門で分け、レア日本犬たちがより楽しめる工夫がされている。



主催：株式会社マール&コーミッションは「愛犬家も犬も犬が苦手な人もみんなが笑顔で楽しく幸せな快適に暮らせる社会をつくる」こと。犬との暮らしに必要な「人の学び」「愛犬への教育」の大切さを考えるきっかけとなることを願って、ドッグイベントを企画・運営している。

「犬」というくりではなく、もっと個性にフォーカスしたい。自分の愛犬の個性を掘り下げるためには、同じような楽しみ方や悩みをもつ仲間が集まったほうが楽しいし情報共有しやすい！」
そんな思いから犬種別のイベントを開催してきた、株式会社マール&コー代表取締役の大瀧昭一郎さん。ミニチュア・シュナウザー、マルチーズなど数犬種に続けて日本犬のイベントも開催。2019年に令和時代の日本犬との暮らしをアップデートするべく『令和日本犬博』がスタートした。

会場では、メインとなるステージとドッグランなどのフィールドエリアで、さまざまなアクティビティが楽しめる。中でも盛り上がるのが、「納豆パクパク選手権」。犬だけでなく飼い主さんも納豆を食べる場面があるため、犬も人も納豆好きであることが参加の必須条件だ。
専用コースで行われる「ドッグタイムレース」も必見。飼い主さんの「オイデ」で50メートルをダッシュする……のが原則だが、走るのに飽きて途中でやめたり、自主的にクン活を始めたりする犬もいる、なかなか見応えのあるプログラムだ。

イベント参加で愛犬の新しい一面を発見することも



ご長寿表彰



うちの子自慢大会



納豆パクパク選手権



CONTENTS

- ドッグタイムレース
- フォトスポット撮影会
- 納豆パクパク選手権
- ハロウィン仮装お披露目会など
- BULLET DOG撮影会

レース系の競技では飼い主さんとの絆や運動神経を競う。思い出の写真を残したい場合は、仮装のお披露目会や撮影会へ。「BULLET DOG撮影会」では、弾丸のように走る愛犬の姿を激写。愛犬たちの個性が出るさまざまなコンテンツが展開されている。

◎『令和日本犬博』
2025年は、5月18日に滋賀県で「春の陣」、
11月30日に茨城県で「秋の陣」の開催を予定している。
<https://reiwa-nihonken.com/>



大瀧さんによると、他犬種のイベントと『令和日本犬博』のもっとも大きな違いが、参加者の距離のとり方なのだと。 「洋犬の場合は、初対面でも近くまで寄っていく人がほとんどです。でも日本犬の飼い主さんは、犬の様子を見ながら距離をとる。離れたところから、飼い主さん同士が挨拶したりおしゃべりしたりするため、必然的に声が大きくなるんですよ(笑)」
参加者からは、「普段はこんなにいい子じゃないのに、イベントではちゃんといられてびっくり」などの声もあるとか。いつもと違う環境で過ごす特別な一日は、愛犬の賢さや適応力に気づかせてくれるきっかけにもなるのかもしれない。
もちろん、飼い主さん自身が新し犬友と出会うことも大きな魅力。愛犬の新たな一面を探し出かけてみてはいかがだろうか。